

製品名: SWAP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18469**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	105kDa

抗原情報

遺伝子名	SFSWAP
別名	SFSWAP; SFRS8; SWAP; Splicing factor; suppressor of white-apricot homolog; Splicing factor, arginine/serine-rich 8; Suppressor of white apricot protein homolog
遺伝子 ID	6433.0
SwissProt ID	Q12872
免疫原	抗血清はヒト SFRS8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

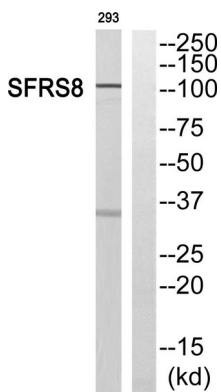
背景

この遺伝子は、ショウジョウバエのスプライシング制御タンパク質のヒト相同遺伝子をコードしています。この遺伝子は、最初の 2

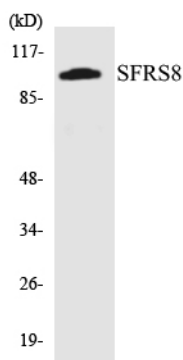
つのイントロンのスプライシングを制御することで、自身の発現を自己制御します。さらに、フィブロネクチン遺伝子と CD45 遺伝子のスプライシングも制御します。異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2012 年 5 月]、機能: 選択的スプライシング制御因子として機能する可能性があります。RNA プロセッシングレベルで自身の発現を制御します。また、フィブロネクチン遺伝子と CD45 遺伝子のスプライシングも制御します。少なくとも部分的には、他の R/S 含有スプライシング因子との相互作用によって作用する可能性があります。、PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、類似性: 2 つの SURP モチーフ反復を含みます。、

研究分野

画像データ



SFRS8 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは SFRS8 ペプチドでブロッキングされている。



SFRS8 抗体を使用した 293 細胞からの溶解物のウェスタン ブロット分析。



SWAP ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。

